

エスクローファイナンス

住宅建築事業者（ハウスビルダー）を対象に短期資金貸付業務を行うエスクローファイナンス（千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー15階）は、一戸建て住宅の工事の出来高に応じて資金を融資する「出来高融資サービス」を2月初旬から始めた。同社によると、出来高に応じたビルダー向け融資は住宅業界では初めてとなる。今後、一戸建て住宅をフランチャイズ（FC）展開している事業者などと提携し、広めていく考えだ。

建築工事一件当たり、請負金額の60%相当額を融資する。内訳は、基礎配筋完了時に10%、上棟時に20%、中間検査完了時に30%とする。

従来では、ビルダーが住宅を建築する資金を確保するには、自社の企業与信を担保に金融機関から資金を調達する

業界初の「出来高融資サービス」開始

か、施主が融資を受けてビルダーに前払い金を支払うのが通例だった。

しかし、市況が低迷し、ビルダーの資金調達環境は依然として厳しい状況が続く。さらに、近年は工事途中でビルダーが倒産し、施主は支払い済みの前払い金が返還されないといった問題が発生している。

また、同社では「完成保証制度構築支援サービス」も行っている。

万一、融資先のビルダーが倒産した場合でも、代わりにビルダーが工事を引き受け、施主に対して工事の完成を保証する。

同社は二つのサービスをパッケージ化することで、資金面や工事面での施主の不安を和らげる狙い。今後、一戸建て住宅をFC展開している事業者の本部などへ提案していく。